原三信病院におけるハイパーサーミア、長期制御例の報告

原三信病院　放射線科　　髙木正統、武藤絵美、添田康博
廣瀬哲雄、寺嶋廣美
臨床工学科　元村哲也、嶽本洋
看護科　　井上文江

【対象及び方法】
2012年6月6日～2014年12月31日に原三信病院にてハイパーサーミアを行い、6カ月以上の経過観察例は178例であった。男性89例、女性89例で、年齢は26歳～86歳（平均61.1歳）であった。疾患別では肺癌、膵臓癌、大腸癌、泌尿器系癌、直腸癌、胃癌、乳癌が多くを占めた。全例が高度進行・再発または転移例であった。加温はThermotronRF-8を用い、化学療法との併用例が85%、他院での放射線治療との併用例が15%であった。
【結果】
加温回数は1回から167回で、5回以上加温例は178例中158例(89%)，8回以上加温例は135例(76%)であった。加温期間は6ヶ月以上加温67例(38%)、12カ月以上加温 34例(19%)であった。治療開始後2年経過の83例中14例(１6.8%)が2年以上生存した。そのうち、著効例3例（肺癌Ⅳ期例、腎癌の術後転移例、乳癌の術後再発例）の治療経過を報告した。
【考察】
　ハイパーサーミアは進行癌や再発癌症例においても、副作用がなく長期の継続が可能であり、化学療法や放射線療法との併用にて効果が期待できる。